

報道関係各位

2016年4月19日

学校法人関東学院  
株式会社ドーム

## 関東学院×アンダーアーマー（株式会社ドーム）

### パートナーシップ契約締結

カレッジスポーツを軸とした日本の教育環境の改革を目指して

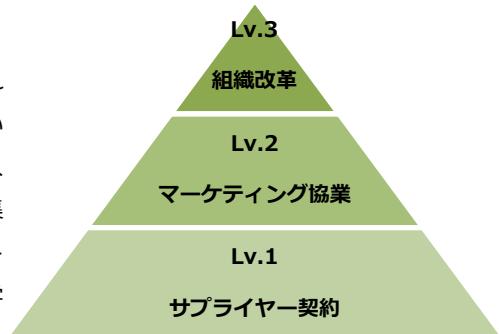


学校法人関東学院（本部：横浜市金沢区 理事長：増田日出雄）とアンダーアーマーの日本総代理店である株式会社ドーム（本社：東京都江東区 代表取締役CEO：安田秀一）は、認定こども園から大学院までの関東学院各校のスポーツを軸とした学校文化の発展、スポーツや文化を通じた地域貢献の促進、カレッジスポーツを軸とした日本の教育環境の改革を目指してパートナーシップ契約を締結し、「アカデミック・インフラストラクチャープロジェクト」（AIP）を起動します。

現在、日本の教育界では少子化問題や、伝達型から体験型教育への転換による教育環境の高コスト化の問題を抱え、今後部活動など課外活動への投資が困難になる可能性があります。しかし、課外活動は、生徒・学生の人間形成には欠かせない高次のアクティブラーニングであると考えています。また、生徒・学生が課外活動を通して市民参加型スポーツイベントの開催や地域のイベントへの協力をを行うなど、地域貢献においても果たす役割が大きくなっています。そこで、関東学院は課外活動や地域貢献の活発化を図り、その上で株式会社ドームが提唱する「アカデミック・インフラストラクチャープロジェクト」の考え方方に賛同し、連携しながら課外活動や地域貢献のさらなる拡充を目指します。

## 「アカデミック・インフラストラクチャープロジェクト」概要

「アカデミック・インフラストラクチャープロジェクト」とは、体育会各部、体育施設、大会運営などスポーツを軸に、体育教育の現場を収益化し、生まれた資金を教育環境改善のために再投資することで、日本の教育環境を高めていくプロジェクトです。特に米国では、教育現場の収益化により大学が高い収入を得て、施設、研究開発、人材等に投資した結果、意欲の高い教授、学生が集まり教育環境の引き上げに成功した事例が多数あります。この度のパートナーシップでは①サプライヤー契約②マーケティング協業③体育局設置による大学組織改革の3段階に分けて本プロジェクトを遂行していきます。



## スポーツを通じたスクールブランディング第一弾、新エンブレムとユニホームを発表！

関東学院大学のカレッジスポーツ・ブランドアイデンティティ確立に向け、これまで体育部連合会によって異なっていたチームカラーを統一し、新たなスポーツエンブレムとユニホームが誕生しました。今後、エンブレムを使用したTシャツやポロシャツも展開予定です。



## 包括的パートナーシップによる展開

### 1.スポーツを通じた人材育成の強化

カレッジスポーツは、「体育部連合会」という制限的な環境において、主体的に仲間と協力しながら自らの力を最大限に発揮することを目指す活動であり、思考、判断、表現という能力や、主体性、多様性、協働性という態度の養成に大きく寄与するものと考えています。株式会社ドームとの連携により、企業へのインターンシップ、商品開発への協力、海外の大学やチーム、日本のプロスポーツチームとの連携推進など、学生に対してさらに多様なスポーツに関連した活動機会の提供を図ります。

### 2.スポーツによる社会貢献

関東学院大学がこれまで取り組んできた市民向けスポーツイベントの開催をさらに強化することで、市民のスポーツへの参加機会を増やすとともに、関東学院大学が有する栄養学部、看護学部の知見と、株式会社ドームが有するスポーツインストラクションの知見を提供し、市民の心身両面での健康な生活への貢献を目指します。

### 3.競技水準の向上

プロスポーツ選手の輩出や、オリンピックに代表されるアマチュアスポーツの競技水準の向上など、大学スポーツがスポーツの発展に対して担う役割は少なくありません。本パートナーシップにより、機能性の高いアンダーアーマーのユニホーム着用や、株式会社ドームが持つトレーニング、サプリメントのノウハウ、高度なチーム・マネジメントへの知見の提供を受け、日本のスポーツ振興に寄与する上でも、カレッジスポーツの競技水準のさらなる向上を目指します。

## ■学校法人関東学院

1884年横浜山手に創立された横浜バプテスト神学校を源流とし、2016年秋に創立132周年を迎える。2認定こども園、2小学校、2中学校・高等学校、大学10学部13学科11コースと学院5研究科を有するキリスト教主義の総合学園。校訓は「人になれ 奉仕せよ」。園児・児童・生徒・学生数14,416名（2015年5月1日現在） 理事長：増田日出雄、学院長：小河陽

2014年特許権実施等件数（外国分を含む）で全国の私立大学の中で1位になるなど、世界をリードするめつき技術の研究をはじめ、教育・研究分野での産官学連携を推進。課外活動も活発で、大学ラグビー部が全国大学ラグビーフットボール選手権大会で10大会連続決勝進出、陸上競技部は箱根駅伝に6度出場。また、中学校高等学校のマーチングバンド部とハンドベル部が世界大会に出場するなどの成績を修めています。

### 主な卒業生（スポーツ）

- ・尾田賢典（2011年世界陸上男子マラソン日本代表・陸上競技部）
- ・原拓也（オリックス・バファローズ・硬式野球部）
- ・ファイパブ月瑠（新潟アルビレックスBB・バスケットボール部）
- ・稻垣啓太（パナソニック ワイルドナイツ・ラグビー部）
- ・富樫敬真（横浜F・マリノス・サッカー部）

## ■UNDER ARMOUR (アンダーアーマー)

「アスリートを進化させる」ことをミッションに掲げる“パフォーマンスアスレチックブランド”。近年急速に普及した身体にフィット（密着）するアスリートのためのウェアの発祥ブランドであり、汗を素早く吸収、発散し、身体を常にドライで快適に保つウェアなど、アスリートのパフォーマンスを最大限に引き出す商品開発に取り組んでいます。米国本社での売上高は2010年10億ドル突破、2015年39億ドル突破と伸び続け、時価総額は160億ドルを突破。1996年の創業以来、驚異的な成長を続けています。

日本においても、読売ジャイアンツ（プロ野球）、大宮アルディージャ（サッカー・Jリーグ）、琉球ゴールデンキングス（バスケットボール）、パナソニック ワイルドナイツ（ラグビー）のユニホームサプライヤーとなっているほか、阿部慎之助選手（読売ジャイアンツ）、柳田悠岐選手（福岡ソフトバンクホークス）、山田章仁選手（パナソニック ワイルドナイツ）宇津木瑠美選手（サッカー女子日本代表）、ボクサー兼モデルの高野人母美選手ら多くのトップアスリートのパフォーマンスを支えています。



UNDER ARMOUR.

## ■株式会社ドーム

1996年創業。

テーピングの取扱いからスタートし、現在はスポーツプロダクト（アンダーアーマー）やスポーツサプライメント（DNS）、パフォーマンスディレクション（ドームアスリートハウス）などの事業を展開しています。ドームは「社会価値の創造」という理念のもと、スポーツを通じた豊かな社会づくりに貢献できるよう努力しています。



### 【プレスの方のお問い合わせ先】

学校法人関東学院 広報企画課 担当：狩野 満（かの みつる）

TEL : 045-786-7049 / FAX : 045-786-7862 E-mail : kouhou@kanto-gakuin.ac.jp [www.kanto-gakuin.ac.jp/](http://www.kanto-gakuin.ac.jp/)

ドームPR事務局 担当：高村・石井・藤原

TEL : 03-5572-6062 / FAX : 03-5572-6065 E-mail : [dome@vectorinc.co.jp](mailto:dome@vectorinc.co.jp)